

令和元年和泉市教育委員会第2回臨時会

日 時:令和元年8月8日(木) 午後1時30分から
場 所:和泉市コミュニティセンター1階 大集会室

出席者 教育委員会

教育長	小川 秀幸
教育長職務代理者	本間 法之
委員	槇野 勝美
委員	松尾 孝人
委員	藤原 安次
委員	藤原 真佐子

事務局

参与	森吉 豊
教育次長兼学校教育部長 (学校教育部)	並木 敏昭
教育指導監	大槻 亮志
次長兼教育センター所長	杉前 洋
教育総務室長	土本 英也
指導室長	上田 茂幸
教育総務室総務企画担当課長	東 直樹
教育総務室総務企画担当総括主幹	山本 暢子
教育総務室総務企画担当主幹	岩井 靖久
指導室教育センター主幹	山内 英輝

和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会委員

和泉市立小学校校長会代表	樹下 堅
和泉市立小学校教育研究会会長	藤原 貞道
和泉市立中学校教育研究会会長	高木 康之
和泉市立小学校在籍児童保護者代表	岩西 弘雅
教育委員会事務局 教育指導監	大槻 亮志
教育委員会事務局 次長兼教育センター所長	杉前 洋
教育委員会事務局 指導室長	上田 茂幸

1. 開 会

2. 会議録署名委員の指名について

3. 審議事項

議案第 28 号 令和 2 年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書
の採択について

4. 閉 会

小川教育長	<p>それでは、定刻となりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>みなさん、こんにちは。</p> <p>本日は、臨時会ということで、ご出席ありがとうございます。</p> <p>また、午前中には和泉市小学校水泳記録会を4つの会場にて開催し、暑さ対策等配慮を行いながら、無事、終了いたしました。</p> <p>私も4会場すべて、訪問し、参加している子どもたちの元気な姿と頑張っている教職員の姿に感激した次第です。</p> <p>それでは、あらためまして、ただ今より、令和元年和泉市教育委員会第2回臨時会を開会いたします。</p> <p>今回の会議録署名委員の指名でございますが、本間職務代理と藤原安次委員にお願いいたしますので、よろしくお祈りいたします。</p> <p>本日の審議事項は、1件になっております。</p> <p>本日は、議案の関係上、和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員の皆さまにもご参加頂いております。必要に応じ、教育委員から質問等をさせていただきます、審議の参考にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。</p> <p>それでは、議案第28号「令和2年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の採択について」を事務局（指導室）から説明願います。</p>
大槻教育指導監	<p>学校教育部教育指導監の大槻でございます。</p> <p>只今、ご上程いただきました議案第28号令和2年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書の採択について、ご説明申し上げます。</p> <p>これは、令和2年度に本市における小学校及び義務教育学校前期課程の児童が使用いたします教科用図書について採択をいただきたく、委員会の議決を求めるものでございます。</p> <p>提案の理由でございますが、教科用図書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令」により、通常4年間、種目ごとに同一の教科書を採択することになっております。本来であれば、平成30年度に小学校用教科用図書の採択を行うこととなっていたのですが、平成29年度検定において新たに合格した小学校用教科用図書がなかったため、今回、全ての教科において小学校用教科用図書の採択を行うものです。</p> <p>以上、誠に簡単ではございますが、提案の理由といたします。よろしくご審議のうえ、採択決定賜りますようお願い申し上げます。</p>
小川教育長	<p>早速審議に入りたいと思います。</p> <p>その前に、本日に至るまでの流れについて、和泉市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員の樹下選定委員長から簡単にご報告をお願いいたします。</p>
樹下選定委員長	<p>選定委員長の樹下でございます。</p>

	<p>これまでの本市における採択までの流れでございますが、教育委員会からの任命・委嘱を受け、5月31日に第1回選定委員会を開催し、「調査委員会」の設置を行いました。調査委員会におきましては、6月4日から綿密に教科用図書見本の調査研究を実施いたしました。また、6月27日、7月4日、7月11日、7月18日には、調査研究員より選定委員会に対して、調査研究報告をもとに、検討・協議を重ね7月25日の選定委員会では、選定資料として意見をとりまとめ、8月1日に答申いたしました次第でございます。</p> <p>各社とも、それぞれの特徴がある中で、選択していただくのは非常に難しいとは存じますが、和泉の子どもたちが学校で学んだことが、「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながるためにも、最善の教科書を採択いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>樹下委員長、ありがとうございました。</p> <p>今回の教科用図書の選定に関しまして、選定委員会及び調査委員会の皆様には、それぞれ公正で詳細な調査をして頂いたと思っております。</p> <p>また、並行して、私と教育委員5名も、6月4日から、事務局から配本された対象となる全ての教科用図書に目を通しました。</p> <p>併せて、大阪府教育委員会より送付された「教科用図書選定資料」を活用し、文部科学省のホームページに掲載されておりました「教科書編集趣意書」についても参考資料として活用してきたところでございます。また、事務局に寄せられましたご意見についても報告を受けております。</p> <p>本日は、答申の資料より、各社における、特徴的なところなどについて報告し、各委員さんのお気づきになられましたことを、ご自由にご発言いただくという形で審議していきたいと存じます。</p> <p>そのような形で進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
小川教育長	<p>ありがとうございました。それではそのように議事を進めてまいりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、審議に入りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">国 語</p>
小川教育長	<p>それでは、まず最初に、種目国語についてご審議をお願いします。国語は東京書籍と学校図書、教育出版、光村図書出版の4社でございます。選定委員会からは、</p> <p>東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に1年間の学習のねらいが明記され、学習の見通しが持てるようになっている。

<p>松尾教育委員</p>	<p>学校図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のはじめに領域と「つきたい力」が明記されている。 <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の手引きにあたる部分が、「1 確かめよう、2 考えよう、3 深めよう、4 広げよう」に統一されている。 <p>光村図書出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ QR コードが適切に付随されている。 <p>などの答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。</p> <p>はい、松尾委員、どうぞ。</p> <p>国語は文字数も多いことから、ユニバーサルデザインフォントの使用によって、子どもたちも幾分見やすいのではないかと思います。UDフォントは、光村図書や教育出版で使用されているということですが、ある自治体において、UDフォントで出題した試験で正答率が10%から15%上昇したという報告もあるようです。</p> <p>しかし、4社とも、児童にとって使いやすくわかりやすいよう、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されているなあと感じました。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、槇野委員、どうぞ。</p>
<p>槇野教育委員</p>	<p>配色の話に近いのかもしれませんが、教科書展示の際に来られた市民さんの声として、確か「光村図書の紙色が白すぎないから読みやすい。」という意見がありましたね。確かに光村図書は、全体的に白すぎない紙色になっていると思います。</p> <p>また、5、6年の教科書で、光村図書と東京書籍が上下に別れずに1冊になっていましたが、通年で使用となり、重く感じるが、何か意味はあるのでしょうか。子どもにとって国語の教科書は、毎日持ち帰るので大変ではないでしょうか。その点、学校現場として、ご意見はありますか。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>学校現場ということで、樹下選定委員長、お願いします。</p>
<p>樹下選定委員長</p>	<p>国語は本読みの宿題等が出ることも多く、基本的には毎日持ち帰ることになると考えています。しかし、巻頭に1年間の学習のねらいが明記されており、今回習った内容と以前に習った内容を関連させ、振り返りながら学べるのは、上下巻に別れていない光村図書と東京書籍のメリットだと考えております。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他にご意見ございませんか。</p> <p>はい、本間委員、どうぞ。</p>

本間職務代理者	<p>私は、国語の教科書を見たときに、光村図書と東京書籍の二つがとてもいいのではないかと思います。今、教育委員会では学力向上が喫緊の課題になっておりますが、学力向上の一番の基礎になるのが国語の力、読解力や言語力だと思います。平成 30 年度の全国学力・学習状況調査の結果を受けて、和泉市の子どもたちの課題と具体的な指導改善のポイントとして分析結果をホームページに載せています。その中で、A 問題、主として知識に関する問題では、和泉市の子どもたちは主語と述語の関係に注意して正しく文章を書くことに課題があるということで、指導改善のポイントとしては、書いた文章を読み返す習慣をつけるとか様々な学習場面で主語と述語の関係を意識することができるようにするということがあがっています。さらに B 問題の主に活用に関する問題では、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べながら考えまとめるということに課題があり、指導改善のポイントとしては、メモを取りながら聞くことができるようにするか、考えのまとめを具体的にできるようにするということがあがっていて、これが喫緊の課題となっているわけです。</p> <p>そういった観点から見てみますと、東京書籍の教科書の作り方は、「メモを取りながら話を聞こう」は、3 年生「上」の 50 ページから出てきていて、その後 62 ページのコラムの中で再確認し、さらに 4 年生「上」の 46 ページのところに聞き方を踏まえて、そして 50 ページでメモの取り方を再確認する、さらに 5 年生で、メモを取りながらインタビューし、さらに 6 年生で話し手の意見を聞いて自分の意見と比べるというという形で少しずつステップを踏みながら学習していくということがきちんと出てきています。同じように、主語と述語の関係についても、あらゆる科目の基礎になると思うのですが、教科書の作り方も 2 年生の「下」から出てきて、さらに 3、4、5 年生と同じようにステップアップして最後に 6 年生で様々な学習場面でそれを意識させて、きちんとした文章が書けるように繰り返し学ぶような構成になっています。そういうことを考えると和泉市の子どもたちの喫緊の課題となっている指導改善のポイントで、特に国語は時間かかると思いますので、低学年の段階から高学年までステップアップしていくような作り方をしている東京書籍は魅力的だと感じました。</p> <p>学校現場では、現在使われている教科書を含め、どのような考えをお持ちですか。</p>
小川教育長	<p>それでは学校現場からということなので、藤原選定委員お願いします。</p>
藤原選定委員	<p>現在学校では、長く光村図書を使用していますので、先生方も教材研究の蓄積があると思いますが、さらに今回、子どもたちとより楽しく学べるなあと感じたのが、光村図書の QR コードが適切に付随されているという点です。光村図書の QR コードは使いやすく、興味を引くものが多かったように思います。6 年生の「帰り道」という教材では、作者が登場したり、「森へ」という教材では、ザトウクジラや、ツンドラ、アカリス、トウヒなどの写真が QR コードから簡単に見ることができました。子どもたちが本を読むときに、情景を浮かべながら読むという</p>

	<p>ことは本当に大切なことだと思います。そんな工夫が光村図書にはされていると思いました。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。 はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>光村図書では、捉えよう、深めようということで、考え方の展開がまとめてあって、子どもにも整理がつきやすいと感じました。一方、東京書籍のように、4年生「下」50ページの「ごんぎつね」に関して言えば「複雑な心の揺れ、変化を知ること」や「人の気持ちは変わるということ」を学ぶなど、自分の経験に結び付け、自分の弱い部分と関連付けて思考するなど比較的高度な内容であると感じました。今の本市の子どもたちに考えてほしい内容でありますし、やはり、先ほどの必要な指導改善ポイントが繰り返し学習できる構成になっている東京書籍の方が魅力を感じました。</p>
小川教育長	<p>他、いかがですか。 はい、榎野委員、どうぞ。</p>
榎野教育委員	<p>私も読ませていただいた感想ですが、取り上げているテーマの中で感動する話が多かったのは、東京書籍だと感じました。学力向上の観点でいけば、全単元のはじめに「言葉の力」があるのも魅力的です。本市の子どもたちの課題に合った教科書ではないかという感じを受けました。</p>
小川教育長	<p>他にご意見はございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、本市の課題でもある「メモを取りながら話を聞こう」等の教材が何度も繰り返し学ぶことができる構成になっている点、感動する資料が多く、また、子どもたちに心の揺れを考えさせる場面をしっかりと作っている点などから、東京書籍が適切であるということになりますが、ご異義ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
小川教育長	<p>それでは、種目国語は東京書籍の「新しい国語」を採択することに決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">書 写</p>
小川教育長	<p>次に、種目書写について、審議してまいります。書写は東京書籍、学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版と5社ございます。選定委員会からは、東京書籍は、</p>

	<p>・左利きの写真を載せることで、左利きの子どもへの配慮がなされている。</p> <p>学校図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2年生では「はらい」など重要な部分にシールを貼ることができ、学習意欲を高める工夫がなされている。 <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では、見開き右ページには手本が示され、左ページには学習の手順に沿ってポイントが配置されている。 <p>光村図書出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「穂先の動き」については、「ななめほさきちゃん」というマークを用い、濃淡のある朱墨で示され、視覚的にわかりやすい。 <p>日本文教出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の広場として、国語や日常生活で活用できる資料を巻末にまとめて豊富に取り扱っている。 <p>などと答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>授業参観日などで低学年の子どもたちの様子を見てみると、上手に鉛筆を持つのが難しいのかなと感じる場面があります。鉛筆の持ち方についてはすべての教科書で取り扱っていましたが、特に、光村図書、東京書籍が「書きやすい鉛筆の持ち方」を写真等でわかりやすく記載しているなあと感じました。</p>
小川教育長	<p>他、いかがでしょうか。</p> <p>はい、槇野委員、どうぞ。</p>
槇野教育委員	<p>鉛筆の持ち方で気になっていたのは、大半の教科書が右利きの子どもが前提として作られていることです。最近では、左で字を書く子どもも随分増えているように思いますが、左利きの取扱いという点であれば、東京書籍が、左利きの子どものための写真もありとても見やすく感じました。</p>
小川教育長	<p>他、いかがでしょうか。</p> <p>はい、本間委員、どうぞ。</p>
本間職務代理者	<p>どの教科書も朱書きの部分はありますが、わかりやすいという点では、東京書籍と光村図書ではないかなと思います。光村図書の「穂先の動き」については、「ななめほさきちゃん」というマークを用い、濃淡のある朱墨で示され、視覚的にもわかりやすく工夫がなされているという感想を持っています。</p> <p>また東京書籍では、教科書の左端の「書写のカギ」でわかりやすくポイントを表現していて、子どもが主体的に学べるという点がとても良いと感じました。まず、「見つけよう」で字の特徴を子どもたちが主体的に捉え、まとめた後に「実際に書いてみる」という流れも、子どもたちが意欲的に取り組みやすい作りにな</p>

<p>小川教育長</p>	<p>っていると思います。</p> <p>他に何かございませんか。</p> <p>ないようですので、審議をまとめますと、左利きの子どもにも鉛筆の持ち方が分かりやすく記載されている点や、子どもが主体的に学ぶための工夫がされている点などから、東京書籍が適切であるということになります。ご異義ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
<p>小川教育長</p>	<p>それでは、種目書写は、東京書籍の「新しい書写」を採択することに決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">社 会</p>
<p>小川教育長</p>	<p>次に、種目社会について、審議してまいります。社会は東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社でございます。選定委員会からは、</p> <p>東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生を上・下に、6年生の内容を歴史編と政治・国際編に分けていて、持ち運びにも便利になっている。 <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間見開き2ページで「この時間の問い」から始まり、「次につなげよう」で終わる形になっており、学習の流れが明確になっている。 <p>日本文教出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードやワークシート、ノートのとまとめ方などの例が具体的に示されている。 <p>などと答申をいただいておりますが、何か意見はございませんか。</p> <p>はい、本間委員、どうぞ。</p>
<p>本間職務代理者</p>	<p>教育出版では、5年生の17ページで、内容のまとめの部分が穴埋め式になっており、1つの答えを求めている問いになっています。しかし、今後はこれらを自分の言葉でまとめる力が問われていると思います。そういう意味では、日本文教出版は、5年生の234ページ「私たちの学びを生かそう」というページや、東京書籍の5年生「上」の110ページの「ひろげる」というページには、魅力を感じました。これからは、子どもが資料を見ながら、既習事項と組み合わせて考えたり、複数の資料を見比べながら対話を通じて学んだりすることができる教材が大切なのではないかなと考えております。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、榎野委員、どうぞ。</p>

榎野教育委員	<p>私は5年生の教科書で比較してみたのですが、日本文教出版は教える内容を選択できる部分が圧倒的に多いのが、いいのではないかと感じました。選択しなかったとしても資料としても活用できるので使いやすい教科書ではないかと感じましたが、学校現場としてはいかがですか。</p>
小川教育長	<p>学校現場の声ということで、樹下選定委員長いかがですか。</p>
樹下選定委員長	<p>教科書どおりに進めていくのであれば、選択は少ないほうがいいと思う部分はありますが、そうなる教える内容が薄くなる傾向があると思います。時には、選択の内容をグループで別々に学び、全体で話し合っ深めるといった授業形態も考えられますので、日本文教出版のように選択が多いほうが深く学べるという利点はあると思います。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。 はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>日本文教出版の教科書は授業の進め方という点でも対話形式に学ぶことができるので、自分のこととしてイメージがしやすいのではないかと感じました。また、ノートのとめ方などの例が具体的に示されているので、先生も子どもたちも使いやすいのではないかなと思います。</p>
小川教育長	<p>他にございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、既習事項の学びを活かそうという工夫がされている点や、教える内容の選択肢が多く掲載されている点、ノートのとめ方も具体的で分かりやすいことから、日本文教出版が適切であるということになります。ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
小川教育長	<p>それでは、種目社会は、日本文教出版の「小学社会」を採択することに決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">地 図</p>
小川教育長	<p>次に、種目地図について、審議してまいります。地図は東京書籍と帝国書院の2社でございます。選定委員会からは、 東京書籍は、 ・おもな、山、川、湖、島、高い建物において日本と世界の比較が詳細に紹介されている。 帝国書院は、</p>

<p>榎野教育委員</p>	<p>・広く見渡す地図では、地名など必要最小限の情報のみ載せており、とても見やすくなっている。 などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。 はい、榎野委員、どうぞ。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>学校現場の意見として、藤原選定委員お願いします。</p>
<p>藤原選定委員</p>	<p>確かに、帝国書院の方が、京阪神の倍率が拡大され、また色合いもとても見やすくなります。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他に何かございませんか。 はい、藤原安次委員、どうぞ。</p>
<p>藤原安次 教育委員</p>	<p>色覚に課題のある児童の立場、いわゆるユニバーサルデザインの観点から見比べると、帝国書院の方が見やすく分かりやすいと思います。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他にご意見はございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、京阪神の倍率が拡大されている、また、ユニバーサルデザインの観点から見やすく感じるという点から、帝国書院が適切であるということになります。ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
<p>小川教育長</p>	<p>それでは、種目地図は、帝国書院の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」を採択することに決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">算 数</p>
<p>小川教育長</p>	<p>次に、種目算数について、審議してまいります。算数は東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、日本文教出版の6社でございます。選定委員会からは、 東京書籍は、 ・1年生算数のスタートカリキュラムとして、別冊の冊子が用意されている。 大日本図書は ・全学年1冊構成で問題解決型の学習に必要な既習事項の活用がしやすい。 学校図書は、</p>

藤原安次 教育委員	<p>・児童がつまづきやすい「倍」の単元で、本単元と切り離して別の単元で3年生から6年生「倍の計算としてシリーズ化して学習できるようになっている。</p> <p>教育出版は、</p> <p>・学習後に「なるほど」と納得したことから、さらに「だったら」と続き、子どもの問いの連続で学習を進めることを促している。</p> <p>啓林館は、</p> <p>・巻末に、習得した知識や技能が確実に定着できるように、「もっと練習」の設定があり、個々の学びに応じて学習の定着を図るとともに、挑戦問題にも取り組める。</p> <p>日本文教出版は、</p> <p>・1年の下巻から「算数の学習の進め方」や算数ノートのつくり方を示し、自ら学んでいく学び方を身につけられるようにしている。</p> <p>などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、藤原安次委員、どうぞ。</p> <p>自分であればどう教えるかという観点では、啓林館が使いやすいと感じました。計算の仕方が丁寧に扱われているので、教える際も、自習の際も使いやすいと思います。5年生では特に計算の仕方の分数の足し算・引き算、体積の求め方について丁寧に書かれていました。本市の子どもたちの課題である家庭学習を充実させるためには、今後の見通しを持たせることが必要であると思っています。そういう意味では、大日本図書と啓林館は目次の記載で、細かく内容の記載があり、学習のつながりも見やすいと感じました。</p> <p>本市の子どもたちは算数に大きな課題を持っていると考えるのですが、保護者の立場、先生の立場から考えて、算数が苦手な子どもたちの底上げを図るのか、得意な子どもたちの引き上げを図るのかという観点ではどうなのでしょう。</p>
小川教育長	<p>それでは、保護者、先生それぞれの立場からということですので、まずは保護者代表の岩西選定委員からお願いします。</p>
岩西選定委員	<p>保護者の立場として、算数は積み重ねの教科だと思うので、子どもが2年生でつまづいた場合、3年生の内容は難しくなるのではないかと感じておりました、その中で算数が苦手な子と算数が得意な子の両方を考えたときに、どちらで教科書を選ぶのがいいのかという部分はとても難しいところだと思います。啓林館や大日本図書、日本文教出版では問題数が多く記載されていてテスト前などの自習でも子どもたちは有効に使えるのではないかと感じます。ただ、好き嫌いが激しい教科であるので、算数嫌いを増やしてしまう危険性もあるので難しいなと思います。</p>
小川教育長	<p>保護者代表の藤原真佐子教育委員からもお願いします。</p>

藤原真佐子 教育委員	学校図書は細かいところまで、挿絵があり、つまずきそうな子どもたちにとってはそれがヒントになるので、丁寧に作られていていいなあと感じました。
小川教育長	それでは、学校現場の立場から、樹下選定委員長お願いします。
樹下選定委員長	これからの学びは、子どもたちがどれだけ既習事項を活用し新たな課題を解決していくのがポイントとなってくると思います。東京書籍のようにヒントがたくさんあると、一見すると子どもたちは困ることなく、ステップアップをしていると思われませんが、逆に必要な活用力が身に付きにくい側面も考えられます。子どもたちが、友達と対話しながら思考を深めていくためには、多少難しい課題が必要であり、そういう意味では啓林館は、みんなで学習して問題解決に取り組みやすい教科書だと感じます。また、日本文教出版は、その日の課題をシンプルに絞って、ヒントは次のページ以降に載せてあり、子どもたちに「わからない」という状況をつくった後みんなで解決していこうという、主体性を持たせるための工夫、構成ができていたと感じました。
小川教育長	関連して何かご意見ございますか。 はい、槇野委員、どうぞ。
槇野教育委員	確かに東京書籍はヒントが多く親切ですけど、ヒントがあることで、子どもがあまり考えなくなってしまうかという懸念を抱いております。自分たちで問題解決をしていくという主体的な学び方という視点では、日本文教出版がいいのではと感じました。
小川教育長	他に何かございませんか。 はい、松尾委員、どうぞ。
松尾教育委員	日本文教出版は、1年生の下巻から「算数の学習の進め方」や算数ノートの作り方を示していますし、6年生の最後のページの「学び方ガイド」など、自ら学んでいく学び方を身につけられるようにうまく考えられていると思います。児童が主体的に考えられる課題が設定されており、キャラクターによる吹き出しでの問いかけやアドバイスがヒントとなって、子どもたちにとっては、とっつきやすいものではないかと感じています。
小川教育長	他にご意見はございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、子どもが主体的に学びに向かう工夫をうまく取り入れている点から、日本文教出版が適切であるということになりますが、ご異義ございませんか。
【異議なし】	

小川教育長	<p>それでは、種目算数は、日本文教出版の「小学算数」を採択することに決定いたします。</p>
小川教育長	<p style="text-align: center;">理 科</p> <p>次に、種目理科について、審議してまいります。理科は東京書籍と大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社でございます。選定委員会からは、</p> <p>東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理科の学び方」で疑問を持つことから、「問題をつかもう」「次の問題をつかもう」など、問題解決型で単元構成されている。 <p>大日本図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「理科の学び方」で「問題を見つけよう→予想しよう→実験→結果→考えよう→わかったこと」と問題解決への道筋が示されている。 <p>学校図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのページの下部に、問題解決のプロセスを小さく示している <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びリンク」で学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 <p>啓林館は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「まとめノート・活用しよう」がわかりやすく、興味が持ちやすい内容になっている。 <p>などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>啓林館はテーマ別に分かれていたのですごく分かりやすいと感じました。また、教育出版はいろんなメッセージ性を感じました。東京書籍6年生の86ページからの「私の研究」は読んで面白かったです。特に89ページの理科の広場では、夏休みの自由研究で特許を取ったということが載っていましたが、本市でも夏休みの自由研究をもとに科学展を毎年開催しているので、このようなページを見ることで、科学に対する高い意識を持ってもらえたらいいのではないかと思います。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、松尾委員、どうぞ。</p>
松尾教育委員	<p>東京書籍の教科書は、単元の最初にレッツスタートというページを設け、どのように授業を進めるのかが丁寧に記載されているので、理科が得意でない先生や経験の浅い先生にとっては使いやすいのではないかと思います。しかし、その反面懸念されるのは、教科書通りやればよいという型にはまってしまうかという点です。このように進めるべきという流れが出来上がっていたら、子どもの主</p>

	<p>体性が発揮されないのではないかと感じました。</p>
小川教育長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>はい、藤原安次委員、どうぞ。</p>
藤原安次 教育委員	<p>理科は、小、中では1科目ですが、高校では、生物、化学、地学、物理に分かれます。そのうち人間の皮膚感覚では感知出来ない物理の分野が一番理解しづらいいと思います。5年生の教科書を比較すると、比較的その分野を学校図書がわかりやすく説明しています。学校の教師から見れば、今の時代の子どもたちに合った理科の教科書ということで何か感じたことがあれば聞かせていただきたいと思っています。</p>
小川教育長	<p>学校現場ということなので、高木選定委員お願いします。</p>
高木選定委員	<p>6年生の教科書で比較してみますと、学校図書は、子どもたちにとっては少し難易度が高いのではと感じましたが、自分で勉強するにあたってはいい資料集であると思いました。啓林館の教科書は、G20 や一般社会でも課題になっている海洋プラスチックごみやESDなどの最先端の情報を分かりやすく扱っており、これから生きる子どもたちにとって、重要な情報が掲載されていると感じました。また、東京書籍では、人物の取り扱いが多く、興味を持って見ることができると思いましたが、ちょっと情報量が多いのではないかなとも感じました。</p>
小川教育長	<p>他にご意見ございますか。</p> <p>はい、槇野委員、どうぞ。</p>
槇野教育委員	<p>私も啓林館がわかりやすく、写真もきれいで見やすいと感じました。5年の教科書の単元構成として、啓林館は植物から魚、魚からヒトという生命のつながりで構成されていて、生命のつながりが途切れないのもよく工夫されているという印象を受けました。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、松尾委員、どうぞ。</p>
松尾教育委員	<p>私も啓林館は「見つける」「調べる」「ふり返る」を進め方の基本とした単元構成となっていて、とても見やすく感じました。また、啓林館6年生の教科書115ページ上にあるような他の教科との関連について、キャラクターの吹き出しで示されている内容もとても深い学びがあると感じました。</p>
小川教育長	<p>他にございませんか。</p> <p>ないようですので、審議をまとめますと、最先端の情報が掲載されている、写</p>

小川教育長	<p>真もきれいで見やすい点、また、他教科の関連も分かりやすく掲載されているという点で啓林館が適切であるということになります、ご異義ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p> <p>それでは、種目理科は啓林館の「わくわく理科」を採択することに決定いたします。</p>
小川教育長	<p style="text-align: center;">生 活</p> <p>次に、種目生活についてご審議をお願いします。生活は東京書籍と大日本図書、学校図書、教育出版、光村図書出版、啓林館、日本文教出版の7社でございます。選定委員会からは、</p> <p>東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の吹き出しから、自分の日常と結びつけて考えたり、学習の見通しを持ったりすることができる。 <p>大日本図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全の看板が多数紹介され、また避難場所としての学校等も紹介されている。 <p>学校図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「まなびかたずかん」が掲載され、身につけた学び方に丸印をつけて、成長を実感できるようにしている。 <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェビング図やXチャートなど、思考ツールを使ったり、付箋を使った情報の整理の仕方が掲載されている。 <p>光村図書出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にシールがついており、学習の振り返りを書き込んで、貼ることができるようになっている。 <p>啓林館は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末に保護者が児童とともに学びを見守るよう呼びかけている。 <p>日本文教出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見出しの下とページの下に活動のめあてを示しており、学習の視点が明確である。 <p>などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>教育出版は安全とありがとうという感謝の気持ちについて、絵や写真も分かりやすく適切に書かれていたと感じました。教育出版「下」の60ページからの「笑顔の秘密探検隊」は、子どもたちがワクワクしながら読めそうですし、感謝の気持ちもしっかりと伝えられる構成となっていました。実際に生活科は、体験活動を伴うことが多いと思うので、このページみたいに、子どもや先生が一目で見て</p>

小川教育長	<p>分かる絵などをうまく使っている教科書が使いやすいのではないかと思いますので、学校の先生は使いやすさという点では、どのように考えていますか。</p> <p>学校現場ということで、藤原選定委員お願いします。</p>
藤原選定委員	<p>使いやすい教科書というのは、まず単元がいくつかある中で、1つ1つがぶつ切りにならないように単元の連続性を大切に扱っていることが大事だと感じます。例えば、「秋見つけ」に出かけて行って、「見つけたものでおもちゃを作る」など活動の流れをしっかりと取り扱っているのが、使いやすいと感じます。そういう意味では、単元の連続性を特に感じた教科書は日本文教出版と東京書籍でした。</p>
小川教育長	<p>他、いかがでしょうか。</p> <p>はい、本間委員、どうぞ。</p>
本間職務代理者	<p>連続性を持たせながら、考える場面をしっかりと作るのは大切だと思います。特に低学年では、思考ツールを活用して、考える場面を作るのは有効だと感じますが、主に思考ツールを扱っていたのが、日本文教出版、教育出版、啓林館でした。日本文教出版下巻の12ページ、13ページにウェビング図が載っていますが、右上に「114、123、134ページも見てね」と書かれていて「ちえとわざの宝箱」に飛ぶように工夫されているのが非常におもしろいと思いましたし、先生も使いやすいのではないかと思います。</p>
小川教育長	<p>他、いかがでしょうか。</p> <p>はい、松尾委員、どうぞ。</p>
松尾教育委員	<p>工夫という点では、日本文教出版では、どのページも見開きの中に、ページの左下に「学習のめあて」が示されており、ページの右下に振り返りがあるので、保護者も読んでいてわかりやすいのではないかと感じました。</p>
小川教育長	<p>他にご意見はございませんか。</p> <p>ないようですので、審議をまとめますと、単元の連続性が感じられること、また、思考ツールをうまく取りいれている点、見開きページで学習のめあてや振り返りの工夫があったという点などから、日本文教出版が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
小川教育長	<p>それでは、種目生活は日本文教出版の「わたしとせいかつ」を採択することに決定いたします。</p>

音 楽	
小川教育長	<p>次に、種目音楽について、審議してまいります。音楽は教育出版と教育芸術社の2社でございます。選定委員会からは、</p> <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲に合わせた身体表現を多く取り入れ、友だちと関わり合いながら楽しんで学ぶことができる。 <p>教育芸術社は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次とは別に、一年間の見通しが持ちやすくなるよう絵や図で簡単に学ぶ内容が表示されている。 <p>などと答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、藤原安次委員、どうぞ。</p>
藤原安次 教育委員	<p>教育出版は5年生には狂言師の野村萬斎さん、6年生にはピアニストの辻井伸行さんから皆さんへのメッセージがあり、教育芸術社は5年生で浅田真央さん、6年生に市川猿之助さんから皆さんへのメッセージがありましたが、教育出版のほうがメッセージ性は強調されているのではないかと感じました。それから、2社とも、国歌「君が代」の歌詞の説明が出ているのですが、教育出版の方がポピュラーだと感じました。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>教育芸術社の66ページの「いのちの歌」は校内音楽会や市の連合音楽会でも度々、披露される楽曲で、馴染み深いと感じます。日本文化に力を入れているなあと感じました。本市の現在の子どもたちが音楽を好きになったり、親しみやすくなる入り口としてふさわしいという点では、学校現場ではどのように感じていますか。</p>
小川教育長	<p>それでは樹下選定委員長、お願いします。</p>
樹下選定委員長	<p>教育出版は、子どもにとって馴染みやすい楽曲が多いと感じます。一方、教育芸術社は郷土の歌や歌い継いでいく日本の歌を多く取り上げています。また、教育芸術社は、学年の発達に応じた曲の積み上げがなされており、段階的・系統的に学習できると感じます。</p>
小川教育長	<p>私の方からも、選定委員さんにお伺いしたいのですが、QRコードの取り扱いについてはどのようになっていますか。教育出版は最初に1つ記載されており、教育芸術社は、内容ごとに取り扱われているようですが、使い方等を考えたとき</p>

藤原選定委員	<p>にはどうなのでしょう。藤原選定委員、お願いします。</p> <p>両方の教科書とも、QR コードから情報が得られるようになっておりますが、教育出版は、1 つの QR コードから情報発信されています。教育芸術社の方は、その都度 QR コードが出てくるため、音楽という分野では個別のほうが使いやすいと感じます。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、本間委員、どうぞ。</p>
本間教育委員	<p>QR コードは子どもが見ると必ず飛びつくと思います。例えば、家で教科書を見ているときに、QR コードから保護者も一緒に調べることで、主体的に見ようとか聴いてみようとなり、自宅での学習につながるのではないかと思います。そういった意味で考えると、教育出版のように 1 つの QR コードよりも、その都度出てくる教育芸術社の方が使いやすいと感じます。郷土の歌や歌い継いでいく日本の歌を多く取り上げているのも非常にいいところではないかと考えます。</p>
小川教育長	<p>その他にご意見はございませんか。</p> <p>ないようですので、審議をまとめますと、郷土の歌や歌い継いでいく日本の歌を多く取り上げていることや、子どもたちに、家庭でも分かりやすく、主体的に探究する自由学習に取組みやすいような配慮がされているという点から、教育芸術社が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
小川教育長	<p>それでは、種目音楽は、教育芸術社の「小学生の音楽」を採択することに決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">図画工作</p>
小川教育長	<p>次に、種目図画工作について、審議してまいります。図画工作は開隆堂と日本文教出版の 2 社でございます。選定委員会からは、開隆堂は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な地域の伝統文化や材料などを積極的に取り上げている。 <p>日本文教出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品のタイトル・材料・大きさ・長さなどが多く記載されており、制作の参考となる <p>などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、槇野委員、どうぞ。</p>

榎野教育委員	2社とも、非常にカラフルで、作品もたくさん載っていますし、表紙も水をはじくように考えられているのはすばらしいと思いました。学校現場では図工の教科書をどのような場面で使用しているのでしょうか。
小川教育長	学校現場ということで、藤原選定委員お願いします。
藤原選定委員	教科の特性上、教科書の最初のページから進めていく教科ではないと考えています。授業中に頻繁に見るというより、子どもの創造性を大事にしたいので、必要に応じて活用しています。また、教科書の内容をヒントにそこから工夫したり広げたりして先生方は授業づくりを考えています。
小川教育長	他にご意見ございませんか。 はい、藤原真佐子委員、どうぞ。
藤原真佐子 教育委員	開隆堂の作品からは、自由でのびのびとしている印象を受けました。子どもの自由な発想を妨げないという意味では、図工という教科にふさわしいと感じます。また、開隆堂の教科書では、1、2年生の時から「ちいさなびじゅつかん」として、現代アートを紹介しています。本市の子どもたちは、6年生で文化芸術科学ふれあい体験事業を実施し、久保惣記念美術館に行き、すばらしい美術作品に触れる機会があります。教科書を通して低学年から美術作品等を見る視点を持つのはいいことであると思います。
小川教育長	他に何かございませんか。 はい、松尾委員、どうぞ。
松尾教育委員	開隆堂は右ページの下に「ふりかえり」が必ず付いているのもいいと思います。些細なことですが、子どもたちにとっては、自分をみつめる一つのきっかけになるのではないかと感じました。
小川教育長	他に何かございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、子どもの自由な発想が期待でき、美術館教育もしっかりと取り上げているという点、振り返る場面を設けている点などから、開隆堂が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。
小川教育長	<p style="text-align: center;">【異議なし】</p> <p>それでは、種目図画工作は開隆堂の「図画工作」を採択することに決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">家 庭</p>

小川教育長	<p>次に、種目家庭について、審議してまいります。家庭は東京書籍と開隆堂の2社でございます。選定委員会からは、</p> <p>東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しくワークシートを作成しなくても教科書に書くスペースを設けているので、教科書があれば学習が進む。 <p>開隆堂は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入に大きな写真を活用し、フォトランゲージで意欲的に学習を始められるようにしている。 <p>などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、槇野委員、どうぞ。</p>
槇野教育委員	<p>そもそも家庭科の教科書には、調理実習や裁縫、消費者教育まで様々な情報が掲載されているのですが、授業を進めるときの教科書の位置づけは、どうなっているのでしょうか。算数や国語の教科書の扱いと家庭科のような実技教科の教科書の扱いについて違いはどうなっていますか。例えば調理をする際の器具の扱い方の解説書としての活用のみで普段はあまり教科書を使わないのでしょうか。</p>
小川教育長	<p>藤原選定委員、お願いします。</p>
藤原選定委員	<p>家庭科は週2時間程度の授業の中で、計画的に内容の確認と実習を行っています。単元に入る際には、教科書で内容の確認をし、実習につなげていく場合が多いです。実習の前には、全員で教科書の内容をおさえますので、見て分かりやすい教科書が使いやすいと思われれます。</p>
小川教育長	<p>他、いかがですか。</p> <p>はい、松尾委員、どうぞ。</p>
松尾教育委員	<p>見て分かりやすいという意味では、東京書籍は開隆堂に比べ、文字が多すぎるように感じました。また、縫い物の挿絵において、開隆堂の方が、糸に余裕を持たせて示すなど見てわかりやすくなっていました。非常時のロープワークなどもこのように示されているので、子どもたちにもわかりやすいのではないかと思います。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子教育委員	<p>私も、開隆堂の教科書の方が生活時間の使い方の表も見やすく分かりやすいと感じました。言葉による表現も実態に即したものであると思いますし、子どもたちからすれば身近でより具体的で、親近感がわくと思いました。東京書籍には自</p>

	分を振り返って見つめる項目が少ないようにも感じました。
小川教育長	他に何かございませんか。 はい、本間委員、どうぞ。
本間職務代理者	学習のめあてについては、開隆堂は単元の最初に3つ示してあり、東京書籍はそれぞれの内容のところで示しています。教える側、教えられる側としても、開隆堂のように「この単元ではこのようなことを学ぶ」という単元を見通した形でのめあてを提示されている方がわかりやすいのではないかと感じました。途中でつまずいたとしても、最終の目標が分かっている方がいいのではないかと思います。
小川教育長	今回の教科書では、どちらの出版社もQRコードにより動画を見ることができます。今まで、先生が前で模範を示していたものが、教室のモニターや家庭でも動画でみることができるのはすばらしいと思ったのですが、QRコードについて授業を進める上で、何かご意見ございますか。 樹下選定委員長、お願いします。
樹下選定委員長	東京書籍はQRコードが1つあって、そこから項目を選択するようになっています。開隆堂はそれぞれの項目にQRコードがついているので、見たいところをすぐに見ることができる利点があると思います。今までは、先生が検索アプリ等で動画を探し、さらにダウンロードをする手間がありました。教科書に合った動画がすぐに見られるのは、特に家庭科のように実習が多い教科では優れていると思います。その中でも、開隆堂のようにそれぞれの項目にQRコードがついている方がダイレクトにその内容に入れるのが良いかと思います。
小川教育長	他にご意見はございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、学習の単元を見通した形でのめあての提示があったり、縫い物の挿絵なども見てわかりやすいという点、QRコードも扱いやすい点などから開隆堂が適切であるということになりますが、ご異義ございませんか。 【異議なし】
小川教育長	それでは、種目家庭は開隆堂の「小学校 わたしたちの家庭科」を採択することに決定いたします。 保 健
小川教育長	次に、種目保健についてご審議をお願いします。保健は東京書籍と大日本図書、

	<p>文教社、光文書院、学研教育みらいの5社でございます。選定委員会からは、東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記入スペースが多くあり、考えたことを書き込みやすくなっている。 <p>大日本図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入時に、動機付けのためのゲームなどが取り入れられている。 <p>文教社は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのけんこうせん言」を取り入れ、単元のまとめができるようになっている。 <p>光文書院は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生かそう・伝えよう」の学習活動を取り入れ、毎時間ごとのふり返りができるようにになっている。 <p>学研教育みらいは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学的な資料を取り上げた「かがくの目」が設けられ、科学的な理解・認識ができるようになっている。 <p>などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、本間委員、どうぞ。</p>
本間職務代理者	<p>学研と東京書籍が非常に分かりやすいと感じました。東京書籍は章立てがはっきりとしていて、今どこを学んでいるのかが分かりやすく工夫されていると思います。学研も、分かりやすく構成されているのですが、高学年は字数が多すぎて、字が小さくて見にくさを感じたのが残念でした。東京書籍も取り上げているボリュームは同じくらいなのですが、ページ数が他社より多く、紙面に余裕があるため、絵や写真も大きく、字も大きいため見やすいと感じました。個人的には子どもが主体的に学ぶという場面では、情報量が多いほうがいいのかという認識を持っていますが学校現場はいかがでしょうか。</p>
小川教育長	<p>学校現場の意見ということですので、樹下選定委員長お願いします。</p>
樹下選定委員長	<p>東京書籍は、情報量が多く使いやすいと思いますが、ワークシートの量もかなり多く、実際に授業をするとすると、書くことに時間をとられるので、この教科書を使いこなすには、かなりの授業構成力が必要であり、初任者など、経験の浅い先生には使うのが難しいと感じました。</p>
小川教育長	<p>その点、いかがですか。</p> <p>はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>そういった意味では、見やすく、使いやすいのではないかなと感じたのは光文書院でした。3、4年生の33ページには、思春期の「性」の悩みについてうまく解説されていて、相談できる窓口をいいタイミングで掲載してくれているのは保護者としても、心強く感じました。一人で悩むのではなく、そういう窓口がある</p>

<p>小川教育長</p>	<p>ことを知っているのと知らないのでは大きく異なると思います。</p> <p>他、いかがですか。</p> <p>はい、松尾委員、どうぞ。</p>
<p>松尾教育委員</p>	<p>光文書院の教科書は、見開きで分かりやすく、右下には「生かそう・伝えよう」の学んだことを記入する欄が設けられています。毎時間ごとに、振り返りができるようにになっているのも、良い点だと思いますし、子どもがどんなことを感じたのか保護者は読んでみたいのではないかと思います。先生方も使いやすいのではないのでしょうか。その点、選定委員の中で、何かご意見はありましたか。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>はい、大槻選定委員、どうぞ。</p>
<p>大槻選定委員</p>	<p>光文書院では、3、4年生の21ページの「広げよう 深めよう」では、学校の保健活動でお世話になっている方々にも触れていました。保健室の先生、薬剤師、学校医、学校歯科医、栄養教諭だけでなく、スクールカウンセラーについても扱っているところが特徴的に感じました。健康は肉体だけでなく、心も健康でなければならないことを伝えるのは大切だと思います。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他にご意見はございませんか。</p> <p>ないようですので以上をまとめますと、教科書が見開きで見やすい点や子どもの相談窓口をいいタイミングで掲載している点、「広げよう 深めよう」等では、家の人との対話のきっかけとなる資料を掲載している点などから、光文書院が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
<p>小川教育長</p>	<p>それでは、種目保健は光文書院の「小学保健」を採択することに決定いたします。</p> <p style="text-align: center;">外国語</p>
<p>小川教育長</p>	<p>次に、種目外国語についてご審議をお願いします。外国語は東京書籍と開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版、啓林館、の7社でございませぬ。選定委員会からは、</p> <p>東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別冊の Picture Dictionary が付いており、ジャンル別、単元ごとの基本表現が載っている。 <p>開隆堂は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文字に慣れよう」で lesson や unit とは異なるモジュール授業の展開も可

	<p>能にしている。</p> <p>学校図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの活動を15分で行う構成にし、活動の見通しが持ちやすい。 <p>三省堂は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各レッスンの最初の見開きのページで、単元目標が児童の興味関心を引きながら、わかりやすく示されている。 <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名所、名物マップやシールなどの教材が付いており、興味関心を引きやすい。 <p>光村図書出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取り上げられている。 <p>啓林館は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジでは、グラフから読み取って答えるなどの発展的な問題がある。などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。 <p>はい、藤原真佐子委員、どうぞ。</p>
藤原真佐子 教育委員	<p>東京書籍の教科書が大きくて見やすいと感じました。また、別冊の辞書がいいと思います。この辞書は、アルファベット順ではなく、ジャンル別にまとめられているので分かりやすいと思います。巻末に掲載している出版社もたくさんありましたが、別冊というのも使いやすいと思います。</p>
小川教育長	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、本間委員、どうぞ。</p>
本間職務代理者	<p>私も東京書籍の「ピクチャーディクショナリー」は非常におもしろいと思っています。それ以外の出版社でも工夫された資料としては、教育出版の「ワン・ワールド」が6年生の82ページのところで、小学校低学年の国語の教科書に出てくる「お手紙」の英語版や、5年生の90ページのところでは、小学校低学年の道徳でよく出てくる「橋の上のオオカミ」というお話の英語版で出ていて、これらは、子どもたちにすれば、内容が分かっている話を別の言葉で表現されているということなので、興味を持って日本語との違いを比較しながら楽しんでもらえれば非常に親しみを持ちながら英語に入っていけると感じました。</p>
小川教育長	<p>外国語について、私からも一言、教科化ということで、あれもさせたいこれもさせたいという気持ちはありますが、逆に子どもが英語嫌いになってしまったら何のための教科化なのかということになると思っています。中学校の英語にスムーズに接続させるためにもその観点是非常に重要であると考えます。「好きな教科」、「嫌いな教科」というようなアンケート結果を見ると、「嫌いな教科」の上位に英語が入っているのが現実です。中学校の英語にスムーズにつながぐためにはとにかく英語が好きというのが一番であると思いますので、そういった英語嫌い</p>

<p>松尾教育委員</p>	<p>を出さないという観点も含めまして、何かご意見ございますか。</p> <p>はい、松尾委員、どうぞ。</p> <p>英語嫌いを作らないためにも、どの教科書でも扱っている「聞く」・「話す」などの「アクティビティ」活動が入るのはいいと思います。しかし、啓林館は、子どもの活動は多く確保されているのですが、何を学ぶのかが少しわかりにくいように感じました。</p> <p>また、英語嫌いで危惧されるのは、長い文章に圧倒されることだと思います。光村図書は本文が長く、圧倒されてしまうように感じました。その点、東京書籍は、情報は多いものの、文章量をコントロールしていますし、辞書をうまく使うことで活動的な授業作りがしやすいのではないかと感じました。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他に何かございませんか。</p> <p>はい、藤原安次委員、どうぞ。</p>
<p>藤原安次 教育委員</p>	<p>幼い子どもが英語を学ぶときに、目で見て理解し、覚えようとしている場面に出会ったことがあります。その観点では、この辞書は、視覚的にも分かりやすくていいなあと感じました。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他、何かございませんか。</p> <p>はい、本間教育委員、どうぞ。</p>
<p>本間職務代理者</p>	<p>視覚的に学ぶことを通して、感覚的に英語を学ぶ、イエローはイエローで、頭の中で黄色と転換するのではなく、見た感じでイエローと受け止める、そういう意味で、先ほどの「ワン・ワールド」と並んで、東京書籍のこの「ピクチャーディクショナリー」は優れものだと思っています。外国語、特に英語で、発音を厳格にしていこうちにおもしろくなくなっていくということがあります。日本語にない音から入っていくと非常に興味を持って、聴覚的にも楽しみながら入れると思います。特に英語の場合は、正確な発音よりもアクセントとリズムなので、主要なところは強く発音されますから聞き取ることができます。東京書籍の辞書は QR コードが非常にこまめについており、音からも頭に入ってきて、メトロノームも使っているのでリズム的にも非常にいいと思います。辞書の使い方によっては子どもたちが楽しみながら勉強でき、家でも辞書だけを見て QR コードから音を聞いて楽しもうというような勉強の仕方ができるのではないかと思います。教科書を見ながら子どもたちが主体的に学習を進めるという観点からすると、東京書籍は、すごくいい教科書だと感じます。</p>
<p>小川教育長</p>	<p>他にご意見はございませんか。</p> <p>ないようですので、審議をまとめますと、教科書が大きくて見やすい点や、別冊の辞書と QR コードをうまく活用し、子どもたちが活動的で主体的に学ぶ場面</p>

小川教育長	<p>がつくれる点などから、東京書籍が適切であるということになりますが、ご異義ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p> <p>それでは、種目外国語は、東京書籍の「NEW HORIZON Elementary」を採択することに決定いたします。</p>
小川教育長	<p style="text-align: center;">道 徳</p> <p>次に、種目特別の教科 道徳についてご審議をお願いします。特別の教科道徳は東京書籍と学校図書、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、光文書院、学研教育みらい、廣済堂あかつきの8社でございます。選定委員会からは、</p> <p>東京書籍は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年では、中学生になるにあたって、自己の生き方について考えることを促す教材が取り上げられている。 <p>学校図書は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも、「きづき」と「まなび」の2冊で構成されている。「まなび」は、内容項目別にワークシートとして構成されている。 <p>教育出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え議論する時間の確保のため一教材あたりの文章量を少なくしている。 <p>光村図書出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5、6年生では悩みながら行動する人の姿などの教材を取り扱い、児童が自ら考えることができるよう配慮されている。 <p>日本文教出版は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」は、教材ごとに構成され、自分の考えを書く欄や自由記述欄が設けられている。 <p>光文書院は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」は、170円の別売り。1教材1見開きで、どの教材でも使える仕様となっている。 <p>学研教育みらいは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のサイズがA4版でさし絵や資料を大きく、写真も豊富に掲載されている。 <p>廣済堂あかつきは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」では、内容項目ごとに感じたことや考えたことを書くページや、「心のしおり」で、自らの学びを振り返ったり、これからの課題や目標を見つかけたりすることができるよう工夫されている。 <p>などの答申をいただいておりますが、何かご意見はございませんか。</p> <p>はい、榎野委員、どうぞ。</p>

榎野教育委員	扱われている教材は、どの教科書会社も内容が充実しており、甲乙つけがたいと感じました。光村図書6年生の86ページ「世界人権宣言から学ぼう」では、世界人権宣言を教材として扱っていたり、同じく光村図書6年生の「ぼくの名前呼んで」などは大人が読んでも家族について考えさせられる深い教材でした。そうなってくると2年前もそうでしたが、どうしても道德ノートが気になってしまうのですが、現在使用している日本文教出版の教科書について、学校の先生方はどんな感想を持っておられるのですか。
小川教育長	学校現場の声ということで、藤原選定委員お願いします。
藤原選定委員	現在使用している日本文教出版の教科書については、経験年数が長く道德に長けた先生の中から、教材は面白いが、道德ノートがあるために自由度がなく発問などが決まってしまう、使いにくいという意見がありました。しかし、経験の浅い先生たちからは、道德の授業の流れがノートを見れば分かりやすく、道德ノートはありがたいという意見があります。道德ノートがあったおかげで、評価の際にはとても役立ったという声も多くありました。
小川教育長	道德ノートについて何かご意見ありますか。 はい、藤原真佐子委員、どうぞ。
藤原真佐子 教育委員	私は、道德ノートはあればいいなと思います。プリントより、ノートになっているほうが紛失もしにくいですし、保護者も子どものノートを見るのを楽しみにしています。でも、あらかじめ質問が書かれており授業の道筋が、ほぼ決められたノートでは、先生も、子どもも主体性が失われると思います。子どもたちが自由にかけるようなノートならいいのではないかと思います。学校の先生方の意見はいかがでしょうか。
小川教育長	ノートの内容について、樹下選定委員長お願いします。
樹下選定委員長	今回の日本文教出版の道德ノートは、今使っているものよりかなり自由度が増し、自由記述の欄があって、使いやすく改良されているなど感じました。また、同じく道德ノートがある学校図書では、低学年の子どもたちが書き込む部分でも5mm方眼になっていたので子どもたちにとっては使いにくいのではないかと思います。加えて道德ノートがある廣済堂あかつきのノートは、教科書に登場する主人公の気持ちを問う発問とノートの発問が異なっているため、授業を組み立てるときに先生方は戸惑うのではないかと思います。
小川教育長	扱われている教材内容も含め、他にご意見はありませんか。 はい、上田選定委員、どうぞ。

上田選定委員	<p>例えば、日本文教出版 6 年生の 146 ページに載っている「わたしのせいじゃない」という題材はいじめ問題を取り扱ったすばらしい教材だと思いますが、取扱いには細心の配慮が必要です。道徳ノートの発問では「この学級のいじめを止めるために、あなたなら①～⑭の登場人物の誰にどのように話しかけますか。」となっていました。いじめをやめるためにどうするかという、ぶれない中心発問のみを記入させるようになっているのがこのノートの良さであると思います。</p>
小川教育長	<p>他、いかがでしょうか。 はい、本間委員、どうぞ。</p>
本間職務代理者	<p>日本文教出版はノートの自由度を高くするなど、変更してきているということですが、「今日の学習をふり返ってあてはまる部分に○をつける」というところは従来と変わっていません。その中に、「新しく気づいたことがある」という項目がありますが、大人が求める答えを子どもたちは予測するので、それよりもむしろ、道徳の授業を通じて考える中で、新しく気付いたことがあるというところに先生は注目していかなければならないのではないかと思います。</p> <p>子どもたちは家族や友人を大切にすることなどは当たり前のように知っていますので、このノートを使うことによって、今まで自分が考え付かなかったことに、他の子どもたちの意見を聞いて気付くということの大切さを感じられるような授業になればいいなと思います。</p>
小川教育長	<p>他にご意見はございませんか。 ないようですので、審議をまとめますと、記録や評価に役立ち、自由度の高いノートがあるという点や「いじめ問題」をうまく取り扱えるように教材が工夫されていることなどから、日本文教出版が適切であるということになりますが、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">【異議なし】</p>
小川教育長	<p>それでは、種目特別の教科 道徳は日本文教出版の「小学道徳 生きる力」を採択することに決定いたします。</p> <p>以上で令和 2 年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書についての審議及び採択がすべて終了いたしました。委員の皆様、慎重なご審議ご苦労さまでございました。最後に、本日の採択結果を確認したいと思います。事務局から報告をお願いします。</p>
大槻教育指導監	<p>教育指導監の大槻でございます。本日、議決をいただきました採択教科書の報告をいたします。種目、発行者、教科書名の順に申しあげます。</p>

種目	発行者名	教科書名
国語	東京書籍	新しい国語
書写	東京書籍	新しい書写
社会	日本文教出版	小学社会
地図	帝国書院	楽しく学ぶ小学生の地図帳
算数	日本文教出版	小学算数
理科	啓林館	わくわく理科
生活	日本文教出版	わたしとせいかつ
音楽	教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	開隆堂	図画工作
家庭	開隆堂	小学校 わたしたちの家庭科
保健	光文書院	小学保健
外国語	東京書籍	NEW HORIZON Elementary
道徳	日本文教出版	小学道徳 生きる力

以上でございます。

小川教育長

委員の皆様、今の報告内容に間違いございませんか。

各委員

間違いございません。

小川教育長

それでは、これをもちまして、議案第 28 号「令和 2 年度使用和泉市立小学校及び義務教育学校前期課程教科用図書採択について」を終わります。ご出席いただいている選定委員の皆様、及び本日の出席はございませんが、選定委員会に設置された調査員会の皆様には、本日までの本当に長期にわたる公正で綿密な調査・研究ご苦労さまでございました。この場をお借りして、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

以上をもちまして、本日の臨時会は終了させていただきます。

令和元年和泉市教育委員会第2回臨時会の様子



傍聴は当日受付しています。皆様の傍聴をお待ちしております。

傍聴方法：当日受付

開会時刻 15分前から先着順で入室可能ですが、その時点で定員を超える場合は抽選とします。(定員数は会場により異なります。)

ただし、人事に関する事など非公開となる案件は傍聴できません。